



松田山からの絶景

# 提案します！ 松田山々頂 「551m」を新たな観光資源に



質問者

田代 実 議員

(1) 松田町第5次総合計画「観光の振興」の重点施策〈まちづくり戦略〉として、観光資源の発掘・活用が掲げられています。町は「発掘」について、どのような取り組みをさ

れてきたのでしょうか。

(2) 松田山々頂は観光資源として活用されていません。昭和前期の地図では標高566mでしたが、ゴルフ場の整備によって現在は551・5mになっています。その山頂は、最明寺史跡公園東端のゴルフ場用地（防災無線鉄塔の近く）隣接地で、360度展望の好立地にあります。

西平畑公園や寄へのハイキングコース・最明寺史跡公園内散策路を繋ぐことによって、松田山々頂が新たな観光資源となることを確信して提案します。

町長の考えをお伺いします。

**A**

山頂を豊かな自然環境と繋ぐ観光資源に！  
回答（町長）

ある。

また、新たな事業として、寄の地域資源を生かし各種農業体験や、農家民泊を発掘するために、講演会を開催している。

(2) 富士山・大島・箱根外輪山などの景色を、松田山々頂とハイキングコースで繋ぐことで、観光資源となる。

(1) 今まで実施している事業を、さらに磨きをかけてリニューアルすること「発掘」と考える。「寄七七星ドッグラン＆カフェ」は、その一つで

松田山々頂は、ゴルフ場用地に隣接しているので、調整が必要と考えるが、前向きに取り組んでいきたい。

## 教育体制の充実を



質問者

南雲 まさ子 議員

(1) 平成29年3月に、文科省は経済的に苦しい世帯に義務教育の就学援助費の入学前支給を可能としました。ランドセル購入等の費用を、入学前に

支給するお考えはありませんか。

(2) 平成28年改正が対策基本法により、学校教育でがん教育の推進が位置づけられました。がん

**A**

充実した教育環境へ  
回答（教育長）

教育を受けることにより、本人や家族に与える影響は大きいと思われませんが、がん教育はどのように行われていますか。

(3) 松田町では県教育委員会より、いじめ問題が背景にある「特別の教科道徳」の研究委託を受けましたが、近年、いじめの早期発見・解決へSNSを活用する試みが注目されています。SNSを使った、いじめ相談に対するお考えを伺います。

(1) 就学援助費を就学前に支給するためには、対象世帯の把握や制度を周知してもらう上で難しい等の問題があるが、課題解決に向けて取り組み、

平成31年度を目標に入学前に支給できるように検討する。

(2) 国は、平成26年度より「がんの教育総合支援事業」を実施し、平成28年度にこの事業のモデル校に寄中学校が指定され、「健康と生命の大切さを育む」という視点で、がん教育を行った。健康については、子供の頃から教育を受けることが重要であり、今後がん教育を推進していく。



全国137校の1校に指定された寄中学校

(3) 「特別の教科道徳」の授業は、2年間にわたり小中連携し取り組んできた。SNSを活用したいじめの相談体制については、県の動向や実施校の状況等を確認し検討して行く。